

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上		成果	コスト		
事務事業名	堀川口防潮水門の地震・津波対策				連絡先	052-654-7937
対象(誰・何を)	堀川口防潮水門				連携課	施設事務所、港湾工事事務所
目的	意図(どうい う状態に したいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。			事業 期間	平成25～令和3年度
概要	堀川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。				根拠 法令等	
令和元年度の実施予 定	堀川口防潮水門の2号通航水門の耐震補強工事を完了します。 また、1号通航水門の耐震補強工事及び排水水門を工事するための角落しの製作を実施します。(令和元年度から令和2年度の債務負担行為による工事)				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	堀川口防潮水門の2号通航水門の耐震補強工事を完了しました。 また、1号通航水門の耐震補強工事及び排水水門を工事するための角落しの製作を進めました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	246,848	237,141	313,989	797,978	平成25年度以降:1,032,900千円
人件費	千円	7,352	6,822	6,422	20,596	
合計	千円	254,200	243,963	320,411	818,574	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	最終目標	3	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事の進捗状況(全 4工程) (進行管理型)	目標	3	3	3	4(累計)	既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事	
	実績	3	3	3			
	事業進捗状況(元年度)		順調 やや遅れ・遅れ				
目標							
実績							
事業進捗状況(元年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事完了に向け順調に進捗しております。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えております。				
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献と考えております。				
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	必要最低限のコストにて取り組んでおります。				

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	背後地の安全性向上に必要不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
堀川口防潮水門の地震・津波対策は、背後地の安全性向上に必要不可欠なものであり、継続して事業を進めていく必要があります。また、既存の水門は高潮対策に主眼を置いた構造であることから、津波への対策を更に強化する必要があります。			堀川口防潮水門は、令和3年度の完了を目途に躯体の耐震補強工事を着実に推進するとともに、新たな水門の整備に向けて検討を進めていきます。